

ミュージアム・レター

Gakushuin University
Museum of History

Museum Letter No.11

発行日 ● 平成21年(2009)9月15日

もくじ

近代皇族の記憶展	1
山階宮家三代関係図	2-3
『写真集 近代皇族の記憶—山階宮家三代—』のご案内	4
関連展示のご案内	4

1. 近代皇族の記憶展

写真が語る山階宮家三代の暮らし

学習院大学史料館では、旧山階宮家の史料を継承管理されている京都勸修寺より、平成17年に史料寄託を受け、調査研究を進めてまいりました。その成果は『写真集 近代皇族の記憶—山階宮家三代—』（吉川弘文館 2008年）として公表されております。

山階宮家は、幕末、伏見宮家の王子晃親王^{あきら}によって創設された宮家で、二代菊麿王^{きくまろ}、三代武彦王^{たけひこ}で終焉を迎えますが、この三代の方々は、皆、進取の気鋭に富んでおりました。なかでも「写真」は二代菊麿王とその王子や王女達の共通の趣味でした。山階宮家の方々にとっては、写真は趣味であると同時に山階宮家の記録を残す大切な手段でもあったのです。

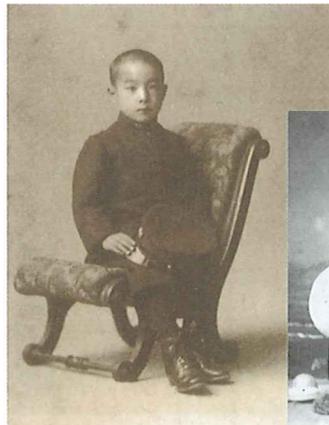
当時、一般にはそれほど普及していなかった写真を撮り、自ら現像し、たくさんの焼付を残しました。その数は千点をはるかに超えます。

これらは「宮家の人々が自ら撮影した」「明治から昭和初期の世相がわかる」等の史料価値を持っています。加えて「宮家の日々の暮らし」の一部が切り取られ、写されているという点で、現代の私たちにとって、とても興味深い生活史料になると言えます。

本展では、『写真集 近代皇族の記憶—山階宮家三代—』の元となった写真のガラス乾板やオリジナルプリントをはじめ、写真集に掲載していない史料、この夏に財団法人山階鳥類研究所より新たに寄託を受けた新収史料を展示いたします。

明治から昭和初期にかけての宮家の暮らしの記録を、ぜひこの機会にご覧ください。

(長佐古美奈子)



萩麿王



明治39年夏、鎌倉にて 武彦王・常子妃

近代皇族の記憶展 写真が語る山階宮家三代の暮らし

2009年10月1日(木)～11月30日(月)

北2号館1階 史料館展示室 入場無料

平日 12:00～17:00

土曜 10:00～12:00

特別開室／10月12日(月・祝) 10:00～17:00

閉室日／日曜・祝日・大学休講日(10/16、17、30、31、11/2)

第59回史料館講座のお知らせ

「映像でみる 近代皇族の暮らし」

2009年10月12日(月・祝)

14:00～15:30(予定)

学習院創立百周年記念館 正堂

入場無料・事前申込不要

2. 山階宮家三代関係図



晃親王と弟宮方
左より
晃親王、
北白川宮能久親王、
小松宮彰仁親王、
伏見宮貞愛親王

伏見宮
邦家親王
光格天皇猶子
享和2・8・10・2724生
天保13・8・10・2724落飾

守脩親王
光格天皇養子
梶井門跡
梨本宮(初代)



晃親王

交流のあった人物

徳川慶喜
勝海舟
島津久光
佐久間象山
大隈重信



大正天皇

大正天皇



武彦王

山階宮(三代)



武彦王・佐紀子妃

ご交友

九条公爵

道孝
九条尚忠長男

範子

明治11・12・4生
明治34・11・1薨

節子(貞明皇后)



貞明皇后



範子妃

山階宮(初代)

晃親王

嘉言親王

文化13・9・2生
明治31・2・17薨

聖護院宮

朝彦親王

中川宮
賀陽宮
久邇宮(初代)

守正王 梨本宮守脩親王嗣

和子女王

大谷光勝夫人

貞教親王

伏見宮邦家親王嗣

彰仁親王

仁和寺宮
東伏見宮
小松宮(初代)

能久親王

輪王寺宮
北白川宮智成親王嗣

博経親王

華頂宮(初代)

村雲日栄

照高院宮
聖護院宮嘉言親王嗣
北白川宮(初代)

貞愛親王

伏見宮貞教親王嗣

伯爵清棲家教

載仁親王

閑院宮家相統

依仁親王(定麿王)

初、山階宮晃親王養子
後、小松宮彰仁親王養子
東伏見宮(初代)



昭和天皇・香淳皇后

昭和天皇
良子(香淳皇后)

山階宮(二代)

菊麿王

海軍大佐
初、梨本宮守脩親王養子
明治6・7・3生
明治41・5・2薨



菊麿王



常子妃

島津公爵

忠義
島津久光長男

海軍少将
忠重

常子

島津忠義三女
昭和13・2・26薨

久邇宮邦彦王

久邇宮邦彦王



昭和天皇・香淳皇后

昭和天皇
良子(香淳皇后)

山階侯爵

芳麿王

陸軍中尉
理学博士、山階鳥類研究所理事長
平成元・1・28生

寿賀子

酒井忠道二女
昭和14・12・12生
昭和22・11・22薨



芳麿王(山階芳麿)



浅野長武・安子



山階芳麿・寿賀子

安子女王

侯爵 浅野長武

東京国立博物館長
昭和17・3・5生
昭和44・11・3薨

筑波侯爵

藤麿王

靖国神社宮司
昭和53・3・22生

喜代子

毛利高範五女
昭和21・4・3生

貞子

肥田和三郎三女
昭和10・8・10生

鹿島伯爵

萩麿王

海軍大尉
昭和7・4・26生

葛城伯爵

茂麿王

陸軍中佐
昭和22・11・4生

敏子

細川護立長女
大正2・9・14生
平成5・5・14薨



萩麿王(鹿島萩麿)



筑波藤麿・喜代子



藤麿王(筑波藤麿)



茂麿王(葛城茂麿)



葛城茂麿・敏子

『写真集 近代皇族の記憶—山階宮家三代—』のご案内

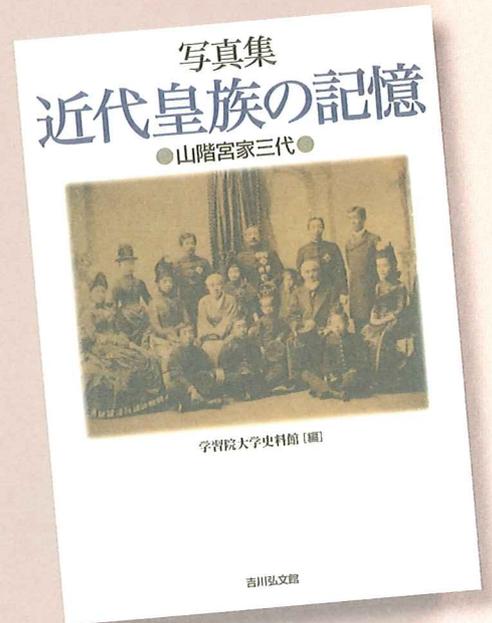
今回の「近代皇族の記憶展」の元となった写真が『写真集 近代皇族の記憶—山階宮家三代—』として刊行されています。

本書には、宮家三代の方々が自ら撮影した宮邸内の様子や学習院での学生生活、皇族の方々との記念撮影、海軍航空隊や飛行機の記録写真など800点におよぶ写真が掲載されています。

知られざる皇族の社会や日常生活をあざやかに映し出す、貴重な史料写真集です。

学習院大学史料館編『写真集 近代皇族の記憶—山階宮家三代—』

■吉川弘文館発行 2008年12月刊行 定価12,000円+税



関連展示のご案内

「近代皇族の記憶展」の関連展示を地下鉄副都心線雑司ヶ谷駅に隣接した雑司ヶ谷アートギャラリーで開催いたします。当館から徒歩10分のところ です。

当館の展示品以外の写真もパネルで公開いたします。どうぞあわせてご観覧ください。

会期：2009年10月17日(土)～11月30日(月)

会場：雑司ヶ谷アートギャラリー (雑司ヶ谷地域文化創造館内)

※外部に面したギャラリーです。24時間いつでもご覧いただけます。

主催：学習院大学史料館

協力：財団法人 としま未来財団



ミュージアム・レター第11号

2009年9月15日発行

〒171-8588

東京都豊島区目白1-5-1

電話 03 (3986) 0221

内線 6569

FAX 03 (5992) 9219

Gakushuin University Museum of History

学習院大学史料館

● ホームページもご覧ください

<http://www.gakushuin.ac.jp/univ/ua>